

せいじ 便り 第6号

揺るぎなき挑戦!!

■国の形を変えたい
〜 公務員制度改革
■暫定税率は必要?
〜 No2



国の形を変えたい
〜 公務員制度改革

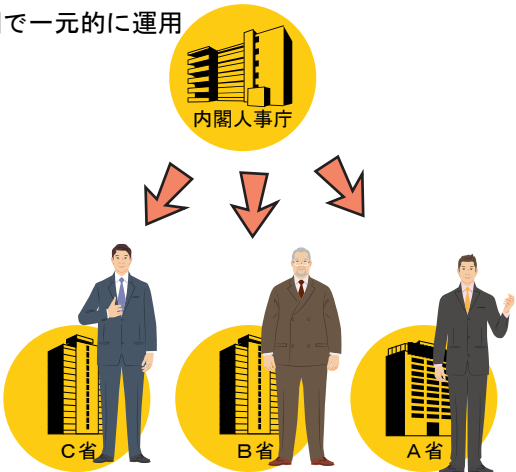
公務員制度改革の議論を続けてきた首相の私的懇談会で、報告書がまとめられました。懇談会では、民主主義の母国・英国についても、参考として議論が行われました。私は財務省勤務時代に英国大蔵省に二年間出向して働いたことがあり、その際の経験をまとめた「英国大蔵省から見た日本」（文春新書）という本も参考にしてもらったようです。



天下り問題については、既に先の国会で改革がなされておられ、今回の主要な柱は、①公務員人事の内閣一元化、②政治家と官僚の接触制限（政官接触制限）です。

先ず、「人事の内閣一元化」は、縦割り行政の是正、人材の効率的活用の中で意義深いものです。現在は、採用も昇進も配転も、原則として各省庁の中で独立して行われています。報告書では、内閣人事庁を創設して、幹部クラスの人事を内閣で一元的に運用するように提言しています。また、国家的政策の立案に省庁の枠組みを超えて携わる「国家戦略スタッフ」の創設も求めています。国家的課題に内閣のリーダーシップで機動的・戦略的に取り組める体制作りを進めていきたいと思えます。

内閣で一元的に運用



次に、「政官接触制限」は、国のあり方を変えるインパクトを持ちます。英国では、役人は、大臣や副大臣など限られた議員以外、与野党問わず議員との接触を禁じられています。日本の政治は、与野党問わず、役所の説明を受けて、その是非を議論しているのが現実です。役所が

設定した土俵で議論することで、政治主導からは程遠い姿になっているのです。そして、役人は、土俵での土俵入りなどが秩序だって行われるように、「根回し」と称するものを実施します。だから、「気配り上手」とか「政治とのパイプ」、専門性や論理性が問われる役人には二の次の能力が重宝がられてしまう。「政治家的な役人」はいらないのですが・・・。

また、私は、かつて財務省にいた時代、大変嫌な経験をしました。現在も活躍する野党の議員に法案の説明に呼ばれた際、一言反論したために、「生意気だ。また後で聞くから、暫く待っている」といって、廊下で二時間近く立たされていたことがあるのです。自分で呼びつけておいてです。しかし、こんなのは序の口。地元の会合用の資料を作れ、明日の演説に使いたいので外国の状況を至急調べろ・・・議員が役所・役人を個人スタッフのように利用しているわけです。しかし、本来、役所・役人の仕事は、国民に対し行政サービスを提供すること。だからこそ、貴重な国民の税金で給料も支払われるのです。政治家は特別な存在ではありません。

英国には、面白い仕組みがあります。議員が役所に要求をして、それが無理難題で膨大な調査や作業、人員を必要とする場合、役所が必要なコストを示して回答を拒否することが認められています。国民の税金を浪費させない措置です。

日本の役人も高い志・使命感・能力をもった人たちが集まっているはずなのですが、本来の役目を果たせずに疲弊している現状があります。役人の仕事は国民のために必死に汗をかくこと。それを阻む省庁の壁、政治の壁をぶちこわしたいと思えます。そして、新たな国のあり方を実現するため、今回の報告書を基に改革を進めていきます。



前号に続き、道路財源について。両院議長の大幹旋を受ける形で与野党が知恵を出し、3月末に各種の税制措置が失効して国民生活が混乱する事態は回避されました。道路財源についても3月末までに結論を得るため、今後、議会で議論を深めなければなりません。

今回の改革は、道路財源の税収が全額・自動的に道路になる仕組みを5年ぶりに改め、道路整備を超える部分は一般財源として使うというものです。今後の議論では二つの点が重要です。

第一に、無駄を徹底的に排除し、一般財源化できる金額を増やす努力を徹底すること。必要な道路整備があるのは明らかですが、土地収用の失敗で進まない例や需要の大幅な下振ぶれなどもあります。更に、マツサージ機やカラオケセットなど、とんでもない無駄も明らかになっていきますから、毎年の予算編成の中で一般財源化できる規模を増やしていけるはずですが、第二に、暫定税率を予め10年維持することが適切な検証。

それにしても、前号で取り上げたとおり、道路という点、地方の立派な道路を想像しがちですが、都市部こそ、道路財源を必要としています。この点は再度強調したいと思えます。東京の環状道路の整備率は僅かに24%、平均運行速度は時速10キロ台です。世界の大都市の整備率は80%を上回り、ニューヨークでさえ平均速度が30キロ台です。経済効率は低く、環境破壊も深刻です。

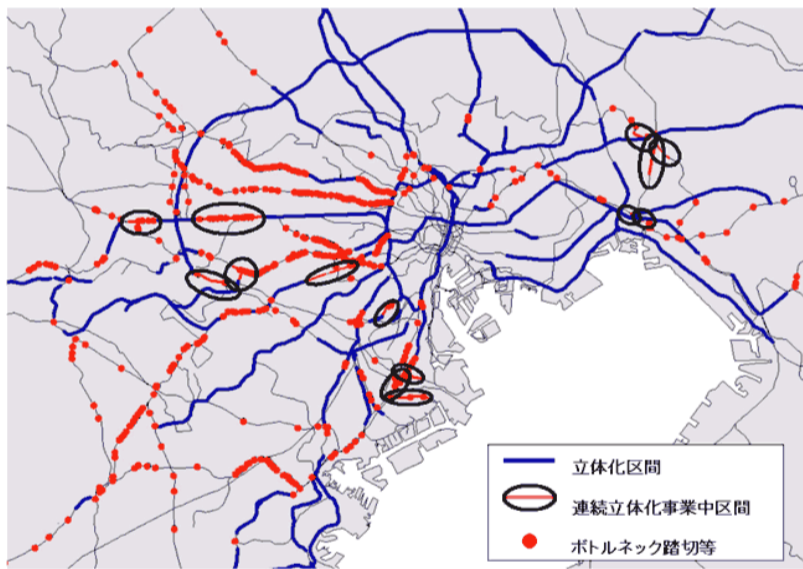
首都圏の生活道路の整備も不可欠です。多摩では登下校に危険を伴う劣悪な生活道路が多く放置されています。電線地中化、開かずの踏み切り対策、バリアフリー化やるべきことは山積みです。そして、老朽化した道路の維持修繕も重要です。

無駄な道路建設は絶対Noですが、かつて15兆円以上行われていた道路整備も小泉改革などで既に半分以下になっているのも事実です。いずれにしても、道路中期計画は「これだけ必要

かもしれない」と言っているだけですから、必要な道路を毎年の予算編成の中で精査し、一般財源化部分を増やす努力をしなければなりません。

逆に、民主党のように、「ガソリン値下げのため暫定税率廃止」を主張しながら、同時に「道路建設の規模は維持する」というのでは政策とは言えません。既に15兆円を超えるバラマキを主張する民主党が更なる空手形……。そもそも、暫定税率を廃止すれば、既に多額の赤字を抱える中で、2兆6000億円の税収が失われます。とりわけ、地方自治体では1兆6000億円の歳入が失われ、歳入欠陥になる自治体も少なくありません。5年ぶりの改革を行うのですから、言葉だけの非現実的なものでは困るのです。

実際、市町村全体で見ると、道路財源だけでは過去の道路建設の借金返済すら賄えないのが現実で、暫定税率を廃止すれば、教育や福祉がしわ寄せを受けかねません。そういう現実を知っているからこそ、「暫定税率廃止」と東京で言いながら、地元では逆を言う議員もいるほどです。我々は、現実的な政策議論をしていきます。



木原せいじモバイル開設!



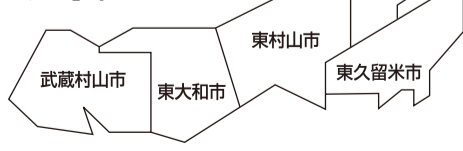
木原せいじモバイル
<http://qtv60.com/kihara/>
木原せいじモバイルはじめました!
木原せいじの生の声聞いてください。ポッドキャストでiPodへの配信を続けています。

木原せいじ事務所

■国会事務所 〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館606号室
TEL: 03-3508-7606
FAX: 03-3508-3986

■地元事務所 〒189-0013
東京都東村山市栄町2-22-13
松岡ビル2階
TEL: 042-392-4105
FAX: 042-392-4106

選挙区



ボランティアを募集しています!

事務所内における事務、ポスター貼り、各種広報物の配布などお手伝いいただけるボランティアを募集しています。どんな事からでもかまいません。政治に興味があって、木原誠二の政治活動を手伝ってみたいと思われる方は是非ご連絡ください。



国会見学に行きませんか?!

木原せいじ事務所では、随時、国会見学を受け付けています。友達や仲間とお誘い合わせの上、是非ご来館ください。少人数からでもお気軽にご相談いただければ結構です。テレビで報道される国政の生の現場をご案内します。



木原せいじプロフィール

- ・私立武蔵中学・高校、東京大学法学部卒業
- ・大学時代はテニスで全国選抜3位
- ・平成5年大蔵省(現財務省)入省、主計局、大臣官房、国際局課長補佐、税務署長歴任
- ・その間、英国大蔵省出向(初代)
- ・平成17年9月 衆議院選挙当選
- ・現在、厚生労働委員会、内閣委員会、拉致特別委員会、各委員。党では、国際局次長、青年局長、女性局長、学生部参与。
- ・趣味はテニス・ピアノ・散歩。座右の銘「至誠通天」。
- ・著書「英国大蔵省から見た日本」(文春新書)

